

アート・オブ・  
ベースボール



スポーツ文化評論家 玉木 正之

(7)

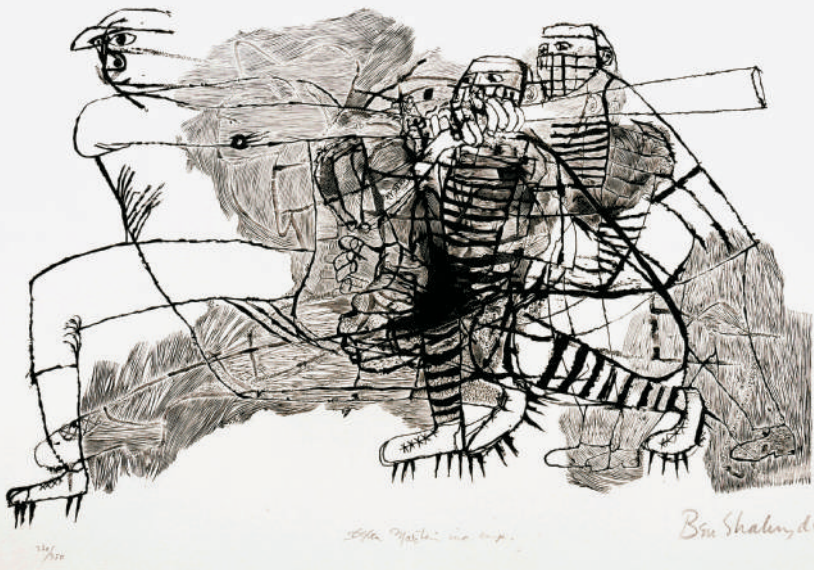
3時間前後の野球の試合でも、プレイ中の時間は20〜30分程度。ホームランは、投手がモーションを起こしてからボールが外野スタンドに突き刺さるまでほんの5〜6秒。最も時間を要する三塁打でも、15秒程度の出来事なのだ。

野球だけでなく、アメリカン・フットボール、バスケットボール、バレーボールなど、アメリカ生まれの球戯は、総じて試合の中断が多い。ヨーロッパ生まれのサッカーやラグビーやホッケーは、できるだけ試合を継続させる。が、アメリカの球戯は、作戦タイムを設けてまで試合を中断させる。

それは長かった開拓時代に、なかなか劇場を建てることのできなかったからとされている。ドラマやオペラを劇場で楽しむことができなかった代わりに、スポーツのなかにドラマを求めたアメリカ人は、ゲームの中断中に様々なドラマを想像するようになったのだ。

「最近、あの選手の調子がいいのは恋人ができたからだろう」「あの選手の調子が悪いのは監督と喧嘩したからか？」……

野球は想像のドラマのあと、美しい閃光を放つ。ベン・シャーンは見事にその瞬間——静のなかの動の瞬間の迫力を描いた。(1968年、木版、個人蔵)



ユニフォトプレス提供